

# 法人内研修 熊原先生をお迎えして 面白がって楽しむ研修

九月五日、社会福祉法人恵仁会理事長の熊原 保先生を講師に招き、法人内研修会を開催し、認定こども園、母子生活支援施設、介護部門より五十名の職員が参加しました。

頑張りすぎてしまうスタッフを労い、パワーを充電してもらいたい。困難な場面に出くわしたときでも、面白がって楽しむコツをつかんでももらいたいという管理者の希望で、「面白がって楽しむということ」というテーマでお話をいただきました。

後日、職員の皆さんより感想を頂きましたので一部紹介します。

「笑顔の大切さ。わかっているけどなかなかできていない。鏡を見ての練習、気付いた時に笑顔を作るようにしてみた↓できていない時間の多さに気付かされた。もしかしたら今まで怖い顔をしていた？怒って見えた？そう考えると気をつけて今まで自分を変えたいと思いました。」

関心、感謝、感動、常に「ありがとう」と思い目の前の人を尊重する姿勢でいたいと思いました。自分とは違う考えにぶつかった時、他人が変わってくれたら。ではなく、自分が変わればすべてが変わる。この言葉を信じてやってみようと思いました」

「研修と聞くと堅苦しいイメージでしたが、ユニークなタイトルでお話も楽しく職場での働き方について考えることができました。自分には失敗を気にして引きづりやすいところがあるので、もう少し楽になっていかな。と思うことができ、自分を見つめ直す時間となりました」

「講演が始まる前からパワフルな感じで初めは少し戸惑いもありましたが、話がすすむにつれ、何だか」

こちら元気がもたらえて自然と笑顔になっていたように思います。色々な問題が山積みで、考えれば考えるほどしんどくなることが多いですが、様々な困難、難題に直面しても、それを面白がって、チャンスに変える熊原先生のお話はとても聞きごたえがあり、同時に自分が悩んでいることが、まだちっぽけで悩んでいる時間があったように感じました」

「特に印象に残った内容は『職場の人間関係を気にしなくていい職場が良い職場と言える。人間関係の良い職場にすることが私たちの仕事の目的じゃない』『コーチング、改革必要。これでもいいのかと問い続けることが大切』『健康を保つ方法 身体的健康(食欲)、』



他の事業所の職員と一堂に会するのは貴重な機会だったと思います♪

# 和光園だより




和光園横綱ご長寿、107歳の永光美恵子さん。  
敬老の日に、ご家族の皆様がお祝いに来てくださいました。  
曾孫さんからの手作りのプレゼントに「かわいいね～」と大喜びでした♪



お月見御膳。うさぎが可愛い♪



「社会的健康(名誉欲)、精神的健康(スキンシップ)これらの健康が保てていると、終焉がよくなるというお話」一つ一つの問題により良い関係性の中で働けるように、これからも周りとの調和がとれるよう努力していきたいと思えます」

「一日一回は鏡を見ながら自分を抱きしめてあげるように努力を心がけたい。そうすることで自分を好きになれれば良いと思う」

「一日一笑の言葉に共感しました。私も一日一笑ならず、二笑三笑と多く笑えるように毎日楽しく過ごしたいと思いました」

「ミーティングでのNGな考え、言い方で傍観者にならないように、人の意見をしっかりと聴くようにする。人任せにしないように自分に責任」

「何か画期的な答えや具体的な方法論がきけるかと思いましたが、講座の途中で気付いた。その考え方が受け身で面白くないのだと。答えは自分で探すこと、能動的に動く(考える)ことの大切さに気付いた。面白くなるために、まず自分の立場や性格を踏まえて何を考え、何をすべきかを模索してみようと思う」

「福祉の極意は聴くこと」というフレーズが印象に残った。業務の中で地域の方などからいろいろな話を伺う機会があるが、今まで以上に耳を傾け、コミュニケーションを大切にしたいと思った」

「人に向き合うということは楽しい事ばかりではなく、しんどいと感じることが多いですが、働く年数が増えるごとに、「楽しい!」「この仕事を続けて良かった」と思えることが増えていきました。職員がいろいろな役割を持って仕事を楽しくすることが、結果、良い雰囲気を作り上げることにつながる。自分に足りないものを日々振り返りながら、頑張った自分をほめることができるように精進していきたいと思えます」

「人に対して、一度でも苦手意識を持つてしまうと、その人の良くないところばかり目に入ってしまいが、その人の良いところ、素敵などを探してみると、こんな一面があるんだなと気づき、そして良いところはどこかなと探していくことにもつながっていくのだらうなと思った」

「職場では子供たちの何気ないしぐさなどに笑っている自分がある。家庭でも、たわいない会話の中で、笑っている自分がある。そう考えると、一日一笑、自分は気付かぬうちにしているんだなと心がふっと軽くなりました」

「今回の研修で印象に残ったのは「笑売繁盛」という言葉です。仕事を楽しむ。人を笑わせる。人向きあう。態度を選ぶ。この四つは保育にも直結しているなと感じました。どんな場面でも自分の態度を意識的に選ぶことが、信頼される保育者としての大切さだと学びました」

